



令和5年度 FCP 第2回若手フォーラム 参加者アンケート

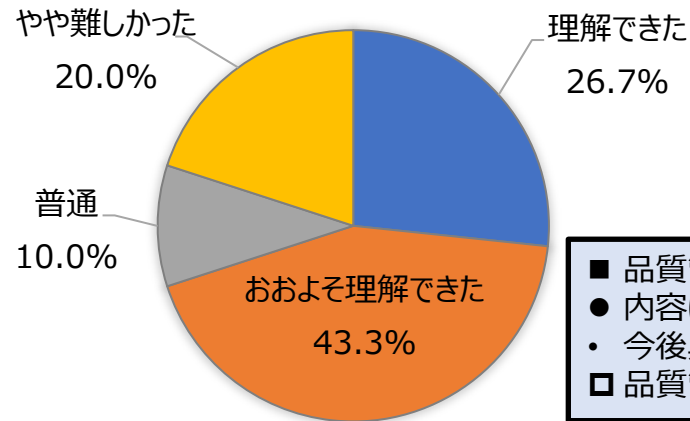
1. アンケート調査について

目的	次回以降及び、翌年度の若手フォーラムの運営や進め方、その他FCP活動の参考とするため、今回若手フォーラムに参加して感じたことや内容・進め方についてアンケート調査を実施
調査対象	令和5年度 第2回若手フォーラム参加者 60名（36社 2省庁）
	有効回答者数 60名（回答率：100.0%）
方法	対面参加者は終了後、手書き回収。Web参加者は同アンケートをメール添付で提出
調査内容	◇講演について（理解度及び意見・感想等） - Q1)「品質保証のための規格認証について」 （5段階評価及び自由記入） - Q2)「企業の品質保証の取組」 （5段階評価及び自由記入） ◇ワークショップについて（進行振り返り感想及び意見） - Q3)チーム内ディスカッション「食品安全と品質」について （5段階評価及び自由記入） ◇全体を通しての感想（満足度及び意見等） - Q4)（5段階評価及び自由記入）

2. アンケート結果 (講演)

Q1 <講義> 品質保証のための規格認証について

評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)

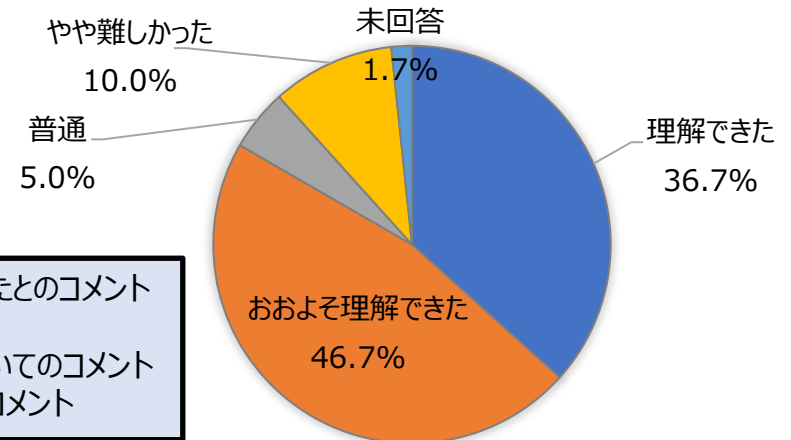


- 品質管理に携わり、理解が促進されたとのコメント
- 内容に関するコメント
- ・ 今後具体的に行ってみたい行動についてのコメント
- 品質管理にあまり馴染みのない方のコメント

- GFSIの目的と仕組みについて漠然としていましたが、今回の講演で非常に理解度が上がりました。
- 一度認証されるとどこでも受け入れてもらえるとのことだったので、認証プログラムについての理解をより多くの人に知ってもらうことも大切だと感じました。
- 品質保証の考え方、規格、枠組みは多岐にわたり、統一できると良いと感じた。
- 第三者認証の戦略と、食品安全マネジメントシステムの背景を知り、非競争分野の課題解決のために、改めて協働の必要性を感じました。
- 国内・事業者だけでなく、世界共通の認証があることで輸出入の幅も広がると思った。
- 日本国内だけでなく世界基準で認められる認証について初めて意識した。
- 品質管理の部署にいないため、一部分からない単語があり、今後進めていくにあたって調べながら復習したいと思います。
- ✓ The Consumer Goods Forum Japan に興味をもった。

Q2 <講義> 企業の品質保証の取組

評価 (5段階評価) 意見、感想 (自由記入)

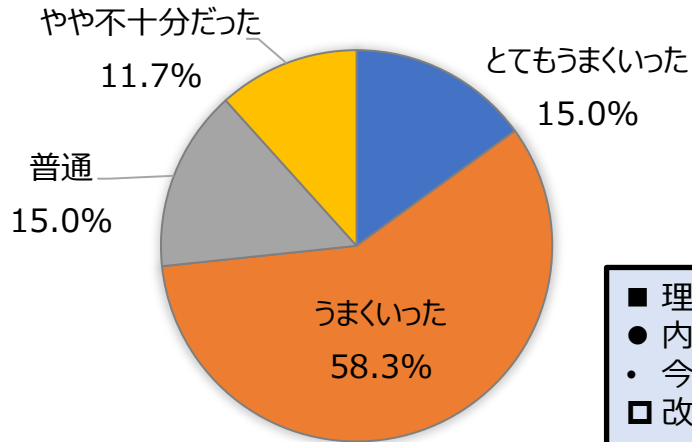


- (品質管理を行う部署について) 今まで役所的に表を見て管理をしているという単純な印象を持っていたが、現場に向かい、工場や取引先と交流しながら、改善、進化していく部署だと感じました。
- 食品安全は非競争だからこそ、産官学で共通認識をつくって、消費者とコミュニケーションをとっていく必要があると感じた。
- 教育を行う立場も知識を継続的に取り入れなければならないと感じた。
- 品質保証は社内でお堅いイメージを持たれがちだが、興味が沸く情報を発信したり、新たな施設の設計時に自ら提案したり、多くの工夫をしていたのが印象的でした。
- 品質保証の守備範囲は広いことが分かった。
- 品質保証はクリエイティブな仕事であるというフレーズがとても印象に残った。
- ・ トリプルチェックの実施など品質管理体制の高さを、社内にも共有したい。
- ・ 品質管理業務の一覧がとても分かりやすく、社内のナレッジシェアリングに役立つと思った。
- 難しかったが、今後理解すべきテーマだと思い、自分でも調べてみたい。

2. アンケート結果（ワークショップ / 全体を通して）

Q3 <WS>チーム内ディスカッション 「食品安全と品質」について

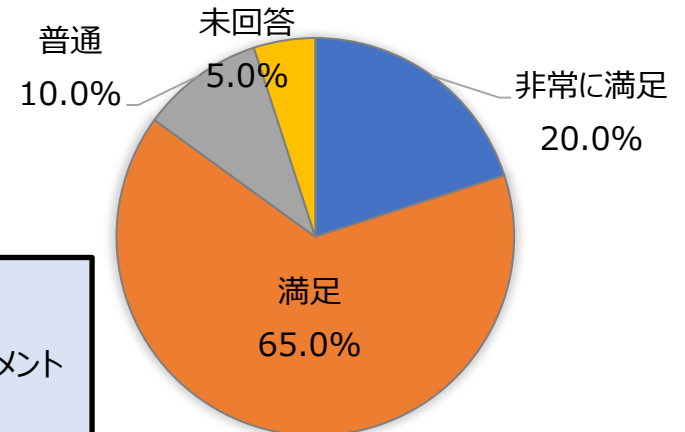
評価（5段階評価） 意見、感想（自由記入）



- 理解できた、充実していたとのコメント
- 内容に関するコメント
- ・ 今後具体的に行ってみたい行動についてのコメント
- 改善希望などのコメント

Q4 全体を通しての感想

評価（5段階評価） 意見、感想（自由記入）



- チーム全体で話しやすい環境づくりができたため、知っていた課題や目的について各企業の部署の目線から多方面で議論ができました。
- 異なる2つの側面から議論を開始したが、最後は共通項が見つかり、うまく内容がまとまった。
- 業界によって、規格が分かれているなど課題と解決策の議論ができて良かった。
- 「生産側」と「企業側」で求めるものと表示するものでズレが生じていると感じた。ただ、食品表示に関して消費者が何に困っているのか？がよくわからなかった。困り事がなければ今のままでいいのでは？と思った。
- ・ 将来こうなったらいいなという希望を色んな視点から話を広げることができた。
- お題がざっくりしていて何から始めて何を結論とすればよいか悩みました。
- もう少し広い一般的なテーマの方が好ましい。
- 事業者の立場から課題を聞くことができて、有意義に思えたが、共感できる部分が少なかったため、アウェイを感じた。そういったところに難しさを感じた。

- 品質保証の部署所属でないことから多少不安を感じていましたが、とても充実した会を過ごすことができました。
- 自社の業務だけでは触れることのなかったテーマについて意見をきくことができ、有意義だった。
- ひとつの題目について様々な立場の方と深く議論し、頭の刺激になった。戻って社内を確認したり、ツール検討に活かしたい。
- ワークの時間がたくさんあって良かったです。
- 今のところ食品業界というより「品質保証部」「食品安全」分野のプログラムである印象。
- ・ 「食品表示の生産者と消費者のコミュニケーションのズレをなくすこと」「海外の消費者にウケる食品表示のつくり方」が今後の成果物のタネになると感じた。
- 席の配置は工夫しないと姿勢がづらい。
- 食品安全と品質の明確な定義を今回の講義でも改めて説明していただけるとありがたいと感じた。

2. アンケート結果（その他 / Web参加についてのコメント）

【講演】

- Webexの接続状況が悪く、講演を聞くことができませんでした。

【WS】

- ワークショップの後半に接続状況が悪くなってしまい、途中で抜けてしまいました。
- リモート参加の方が意見を出しやすかったり会場の音声や映像が伝わりやすい工夫をしたい。
- 今回WEB参加のため、同じチームの方が気付いてくれない限り発言しても気づいていただけないという実態も自身で感じてしまいました。ある意味気づきにつながる参加でしたが、極力対面で参加しなければならないと改めて感じました。

【全体を通して】

- **WEB参加の場合拾う音声が多すぎて、音声途切れる場面が多かった**です。また、他のチームでも同様のことが考えられます。現場のパソコンでWEB参加の画面がどういう風に表示されているかは分かりませんが、コメント欄を大きく表示するなど改善できることが出来れば、全体の活性化につながると思います。それ以外にも改善策があれば、実行していただけると幸いです。
- 今回はウェブでの参加であったため、どうしてもいくつか不具合があり議論についていけないことがございました。（**マイクが遠い方の声が聞こえづらい、模造紙が見えづらい**など）
- ウェブ参加であったため講義は画面が見やすく非常に受講しやすかったです。グループワークでは、**実際の発表の場への切替が間に合わず一部の発表を聞けないなど不具合**がございました。現地参加のチーム員で改善できる点もあると思いますので、今回の経験を次回に生きていきたいと思います。

3-1. Q1. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「品質保証のための規格認証について」 次ページに続く

- 品質保証について今まで学ぶ機会がなかったためとても勉強になりました。CGFやGFSI等といった意味も丁寧に教えてくださり、とてもわかりやすかったです。一度認証されるとどこでも受け入れてもらえるとのことだったので、認証プログラムについての理解をより多くの人に知ってもらうことも大切だと感じました。
- 品質の管理をするにあたって仕組みをしっかり作り、徹底して行うことが大切なのだということがよく理解できました。品質管理の部署にいないため、一部分からない単語があり、今後進めていくにあたって調べながら復習したいと思います。
- 普段、お客様相談室という部署で業務をしており、「第三者認証とGFSIの役割」の講演を受けて、恥ずかしながら、初めて知る言葉が多かったです。大久保様より教えて頂いた内容を社内に持ち帰り、業務に生かせるよう落とし込みたいと思います。
- GFSIの目的と仕組みについて漠然としていましたが、今回の講演で非常に理解度があがりました。
- 認証が乱立していることを知ることができた。
- 改めて規格について理解することができた。
- 認証についての仕組みや監査員の不足など課題について、聞きたい内容であった。監査員としてのキャリアを近々で描いているものの専門性を問われると安全衛生などの食品以外の切り口となるため、ちゅうちょしている
- 仕事で関わらない内容で勉強になりました。
- 日本国内だけでなく世界基準で認められる認証について初めて意識した。
- 業務の中でも何度も出てくるGFSIについて、どのような機関であるかの概要は知っていても具体的なことは全くしらなかったため、とても勉強になりました。
- GFSIを知らなかったです。
- 第三者認証の整理ができ、有意義でした。
- 初めて知る内容で、何について話しているのかあまり理解できませんでした。企業が行っている食品安全のことですか？
- GFSIや食品安全規格がどのような考え方で設立されたのか、今、どのように機能しているかを考えるきっかけになった。
- 第三者認証の戦略と、食品安全マネジメントシステムの背景を知り、非競争分野の課題解決のために、改めて協働の必要性を感じました。
- GFSIの役割など知らないことが多く、難しかったが、今後を踏まえて勉強したいと思う。
- GFSIを含めて、規格認証の最大の目標は安全な商品を作ることということを再認識した。ただ、規格の内容は食品全般のために作られているため、もう少し、それぞれの業種に細分化した内容をリリースしても良いのではないかと思います。
- GFSI自体を理解しておらず、お話を聞いて理解する良い機会でした。
- FSSC22000を業務上扱うため、管理元のGFSI事務局のしくみを学べて勉強になりました。
- GFSIを初めて聞いたので、お話を聞くことができ、知識として取り入れることができた。国内・事業者だけでなく、世界共通の認証があることで輸出入の幅も広がると思った
- まだ勉強中ですので難しく感じた点もありましたが、視点を広く知ることが出来ました。ありがとうございます。
- GFSIについて、仕組みを理解していなかったため、大変勉強になりました。さらに理解を深められるよう自己学習を進めたいです。
- 認証について普段業務で関わる部分しか認識していなかったが、全体を知ることができた。
- GFSIの役割とFSI認証規格の成り立ちについて理解することができた。
- 自身が業務で係のない認証は難しく感じたが、知る機会となり、興味が出た。認証の仕組みを改めて知ることができて良かった。

3-1. Q1. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「品質保証のための規格認証について」 続き

- 取引先により求める認証規格が異なり、複雑化していたため、一定の水準を共有することによって、レベルUPと事業者の効率化をはかったという背景が理解できた。
- 食品安全は協働という言葉良かった。
- 基礎知識がない状態でしたので「仕組み」の大枠を学ぶことができました。
- 難しかったが、今後理解すべきかしやと思いました。自分でも調べてみたいです。
- 普段規格認証とはなじみのない仕事をしているので、聞く話が全て新鮮でところどころ難しかった
- GFSIの役割について、理解が深まった。とても大きな組織であること驚いた。
- とても難しかったです。
- GFSIについて、基本的な知識を吸収できた。
- あまり予備知識のない分野で、難しかったです。
- DGFとGFSI関係がわかった（今までよく理解していなかったので）
- The Consumer Goods Forum Japan に興味をもった。
- 自分がうまく言葉にできない表現を知ることが出来、とても有意義でした。
- 企業の品質保証の仕組みや取組みを知ることができて参考になりました。
- 品質保証の考え方、規格、枠組みは多岐にわたり、統一できると良いと感じた。
- 認証について普段なじみがないため、難しく感じました。
- 第3者認証に関しては社内の勉強会等で少し学んでいましたが、その大元にCGF、プログラムオーナーや認定機関があることは初めて知ることができました。
- 具体的な認証事例をもう少し紹介して頂きたいと思った。
- もっと詳しく聞きたいです。
- 自分では全く知らなかった食品安全の仕組みを理解した。

3-2. Q2. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「企業の品質保証の取組」次ページに続く

- Webexの接続状況が悪く、講演が聞くことができませんでした。
- 品質管理を行う部署の実務作業がとてもよく分かりました。今までは役所的に表を見て管理をしているという単純な印象を持っていたのですが、現場に向かい、工場や取引先と交流しながら、改善、進化していく部署だと感じました。また、内容を理解するにあたり順序だててお話ししてくださったのも非常に理解しやすかったです。
- 時間があれば、もっと具体的に聞きたかったです。
- ご指摘発生時の対応フローを作成されていたり、電子化されていたりとても興味のある講演でした。弊社でも社内コミュニケーションツールを充実させたいと思っておりますので、FCP活動中にでも詳しくお話を聞くことができれば嬉しいです。
- 他者の品質保証体制を知れて勉強になりました。
- 商品の品質管理を聞いたのは貴重でした。（メーカーなので）
- 確認基準の話で、法律よりやや「厳しい」基準を目指しているのではないかと考えた参加者が多く、在籍している組織の「風土」、「社風」のようなものが表れていたように感じられ、おもしろかった。
- 具体的な品質管理の現場、品証で苦労したことなどもうかがえると参考になる。フローやマスタープラン作成の過程についてもう少し細くなる作業も聞いてみたいと思った。
- 品質保証のお仕事の奥深さを感じました。
- 多くの方が「食品安全は非競争分野」と協力を推奨していることが再認識できた。
- スライドの内容が充実していたので、もっと時間があれば、さらにお話を聞いてみたかったです。
- 国分のおおまかな制度を理解しました。フロチルを扱っているので、わかりやすかったです。
- 実際の活動を教えて頂き、勉強になりました。
- 品質保障の様々な考え方や取組が理解できた
- 製品の配送テストの実施やフロチル加工の管理等は、弊社にはない取組みで興味深かったです。
- 下請法は自身関わりのある法律であり、これも品質保証に携わっていることを初めて知った。
- 国分様の品質安全の仕組みがわかりやすく、フロー化されており、私たちも、これから少子高齢化が進む中で、しっかりとしたフローを構築していかなければならないと感じました。
- 国分様でどのような取組をされているか、非常に参考になりました
- トリプルチェックの実施など、品質管理体制の高さを、社内にも共有したいと思いました。
- 国分グループの取組について学ぶことで、企業の動きを見ることができた
- 具体的にご説明いただいたのでとてもわかりやすかったです。監査や管理方法などとても興味深かったです。
- 他者さまの保証についてうかがえる大変貴重な機会になりました。安全は協働ということで他者さまの意見をうかがえる機会が増えるように交流したいです。
- 国分グループ（問屋機能）の品質保証の取組について理解した。品質管理業務の一覧がとても分かりやすく、社内のナレッジシェアリングに役立つと思った。

3-2. Q2. ご意見・ご感想（全コメント）

講演：「品質保証のための規格認証について」 続き

- ・ 具体例をもとに調査側の考えや品質保証の取組を理解することができました。
- ・ 国分グループ様の事例について理解した。品質保証の守備範囲は広いことが分かった。
- ・ 取組んでいる内容が聞けて良かった。
- ・ HACCPのイラストなどとても分かりやすかったです。
- ・ 難しかったが、今後理解すべきかしよと思いました。自分でも調べてみたいです。
- ・ 普段規格認証とはなじみのない仕事をしているので、聞く話が全て新鮮でところどころ難しかった
- ・ 品質保証はクリエイティブな仕事であるというフレーズがとても印象に残った。
- ・ とても難しかったです。
- ・ 同じ卸として、共感する点が多かった。
- ・ 少しテンポが速くて理解が追いつきませんでした。
- ・ 企業体がよく似ているので参考にしたい。
- ・ 国分グループさんの具体的な品質保証（管理）のしくみについてお話を伺うことができとても勉強になった。取扱い品が多岐に渡ることによる苦労は当社グループも同じ。またやはり表示に関する管理にコストがかかっていると感じた。
- ・ 定期的に継続して品質保証の教育とありましたが、他の分野でも同じだなと感じました。定期的にできる内容をつくることもですが、教育を行う立場も知識を継続的に取り入れなければならないと感じました。
- ・ 他社の仕組みが少しわかった
- ・ HACCPの導入についてより具体的な落とし込み方法を学ぶことができ、より深く理解することができました。また、それぞれの取組方法は非常に参考になり、弊社での活動にも役立てたいと思います。
- ・ 品質保証は社内でお堅いイメージを持たれがちですが、興味が沸く情報を発信したり、新たな施設の設計時に自ら提案したり、多くの工夫をしていたのが印象的でした。
- ・ 企業での取組、苦労されている点について学ぶことができた。実務におとしこんだ話はこれまで知らなかったので勉強になった。
- ・ メーカー側の話も聞いてみたいと思った。
- ・ 弊社でもワークフローを用いてアクシデントログを運用しようと試みているので、非常に勉強になりました。
- ・ 参考になりました
- ・ 食品安全は非競争分野ってということが印象的だった。非競争だからこそ、産官学で共通認識をつくって、消費者とコミュニケーションをとっていく必要があると感じた

3-3. Q3. ご意見・ご感想（全コメント）

WS：「チーム内ディスカッション「食品安全と品質」について 次ページに続く

- ・ ワークショップの後半に接続状況が悪くなってしまい、途中で抜けてしまいました。前半に関しては画面越しですが皆さんの意見を聞くことが出来、品質保証に関しての知識が少し広がりました。
- ・ チーム全体で話しやすい環境づくりができたため、しっていた課題や目的について各企業の部署の目線から多方面で議論ができました。オンラインでの参加の厳しさはネット環境の点からも課題を感じております。
- ・ 最後の到達点は非常に良かったと思っています。課題が共通しているので、もっとチームが深堀りすると良いアイデアが生まれそうだと感じました。
- ・ 知らない知識などもディスカッションを通して学ぶことができて良かったです。他の班の方の発表で、劇をされている方がいて面白いなと思いました。発表の機会があれば、参加されている方の印象に残る発表をしたいです。
- ・ 自分の力量不足により発言があまりできなかった。
- ・ リーダーとして皆さんから意見がでるようにできた。ハイレックスでWebの方に参加してもらったのが難しかった。
- ・ 製造に携わるメーカーの方お気持ちがすごくよくわかった
- ・ 議論への積極性が足りなかった
- ・ 前回Web参加であったため、実際に様々な人のお話を聞けてよかった。業界によって、規格が分かれているなど課題と解決策のギロンができて良かった。
- ・ リーダーとして上手く進行できなかったですが、堀さんや皆さんに助けていただきました！ありがとうございました。
- ・ 多様な視点からの意見を聞けて良かった
- ・ 様々な目線からディスカッションができて学びがあった。しかしなかなか着地点を設定するのが難しい題材であるとも感じた。
- ・ どんどん後からよくなったと思います。次回からふせんをもっと上手に使いたいです。
- ・ ファシリテーターの堀さんにかなり助けていただきました。
- ・ 初めての参加で緊張しました。事業者の立場から課題を聞くことができて、有意義に思えたが、共感できる部分が少なかったので、アウェイに感じました。そういうところに難しさを感じました。
- ・ もっと積極的にプレストを行い、発言すべきだったが、皆さんのおかげでなんとかあった
- ・ 内容については、様々な視点か見た第三者のお話を伺うことができて、大変勉強になりました。しかしながら、今回初めてWEB参加させていただいたのですが、他チームの声等の周りの音で、ディスカッションの内容を十分に聞き取ることが難しかったです。チームメンバーやファシリテーターの方が、ディスカッションの内容を改めて伝えてくださったり、意見を言う機会を設けてくださったりして、大変助かりました。
- ・ もっと自分での意見を言える様にしていきたいと思う。
- ・ 順序を確立しながら、議論ができたと思います。
- ・ 食品安全規格について、私の理解が不足しており、皆さんから得た知識を今後に活かしたいと思います。
- ・ ワークの進め方が難しかったが、ファシリテーターの方のサポートもあり、メンバーの意見も出し合えて、有意義なワークになりました。
- ・ 業種により、同じ制度でもとらえ方が異なることを改めて感じました。進行の方法が中々決まらない中、メンバーの皆さんからご意見をいただきながら進めることができ良かったです。
- ・ 前回より深い話ができた。行政の立場から発言する機会を増やしたい

3-3. Q3. ご意見・ご感想（全コメント）

WS：「チーム内ディスカッション「食品安全と品質」について 次ページに続く

- もっと事前の準備が必要と感じました。課題だけでなく、自分の意見をまとめたり、調べたりもう少しして臨めばよかったと思いました。
- お題がざっくりしていて何から始めて何を結論とすればよいか悩みました。最後はうまくまとめられてよかったです。また、様々な視点で意見を聞けて勉強になりました。
- それぞれちがう立場からの意見を聞くことができ、新たな気づきとなった。議論のすすめ方も他のメンバーの意見により円滑にすすめることができた。
- 難しいテーマではあったが、チームメンバーで意見を出し合い、課題の改善案まで着地することができた。次回からも活発な意見交換をしたい。
- 最終結論を出すまでが難しく感じた。ただ、チームの皆様やアドバイスを頂いた方々のお陰で何とかまとめることができた
- 様々な企業により、同じ認証に対しての考え方や立場が異なり多様性を実感した。
- 時間を意識してのワークショップの練習になりました。もっと発表の仕方を学んでいきたいです。
- 各人の考えや意見を聞けて参考になった。
- 機会点は多くありました。改善し、次回にいかします。
- チーム内のまとめはじゅんちようでしたが、発表までの練習がたりてなかったので、時間配分に次は気をつけたいです。
- 企業側の意見や見方を知ることができて大変勉強になった
- 異なる2つの側面から議論を開始したが、最後は共通項が見つかり、うまく内容がまとまった。
- どうまとまるか不安でしたが、消費者のためと方向性を決めてからはまとまってよかった。
- 誰を対象に価値を生み出すか？ポジティブに〇〇うることを検討できたのが、良かった点でした（〇〇は読み取り不能）。
- あまり議論を深めることができず、次回頑張りしたいと思います。
- 官・民、メーカー、流通、保険など様々な立場からの意見があり議論自体は充実していた。リモート参加の方が意見を出しやすかったり会場の音声や映像が伝わりやすい工夫をしたい。虫の眼、鳥の眼で見る（復習）
- Eチームでは特定の方がリードしてくれています。けれど特定の人の主観でまとめられしまうと、発言できる機会をなくしてしまう人も見受けられます。今回WEB参加のため、同じチームの方が気付いてくれない限り発言しても気づいていただけないという実態も自身で感じてしまいました。ある意味気づきにつながる参加でしたが、極力対面で参加しなければならないと改めて感じました。
- 発表がよくなかった。内容はよかったと思う。もう少し準備必要。
- 次回は全員が発言できているか気にしようと思います。
- 今回はウェブでの参加であったため、どうしてもいくつか不具合があり議論についていけないことがございました。（マイクが遠い方の声が聞こえづらい、模造紙が見えづらいなど）
- 内容がやや難しかった。発言が上手くできなかった。
- 実際に品質保証を現場でされている人たちの考え方は大変参考になった。
- 食品安全・品質保証の話がやはりメインになるので、担当者以外の発言機会減少につながる。もう少し広い一般的なテーマの方が好ましい。このFCPに参加する職種がこのままだとどんどん狭くなる恐れがある。

3-3. Q3. ご意見・ご感想（全コメント）

WS : 「チーム内ディスカッション「食品安全と品質」について 続き

- 身近にある食品表示についてふくらみ、今の課題がどうしていけばいいのか等、色々な角度から全員が参加して話ことができました。皆さんの意見が聞けて新鮮でした。
- 前回以上に話題が広がって、各々の立場からの意見を聞くことができ、おもしろかった。
- 情報の双方向性がない、一方通行になっているという点を深掘りすることができた。
- 前回よりも活発な意見交換を行うことができた。表示について海外等様々な目線を学べた。
- 出だしは少しゆっくりした話し合いだったが、中盤以降はざっくばらんな意見が出ていた。
- 将来こうなったらいいなという希望を色々な視点から話を広げることができた。とても楽しかったです。
- みんなチーム内で意見出し合いました。
- 食品表示についての議論がメインだった。「生産側」と「企業側」で求めるものと表示するものでズレが生じていると感じた。ただ、食品表示に関して消費者が何に困っているのか？がよくわからなかった。困り事がなければ今のままでいいのでは？と思った。

3-4. Q4. ご意見・ご感想（全コメント） 全体を通しての感想

- ・ 接続状況が悪く退出を繰り返してしまった際に、事務局の方がメールを下さりすぐに対応してくださったので、とても助かりました。ワークショップで退出し、再接続した際には、グループのルームに戻る方法がわからなかったため、再度ルームに戻る方法を教えていただけると幸いです。次回は可能なのであれば会場に足を運びたいと考えています。
- ・ 本日は専門的な内容が多かったため、品質保証の部署所属でないことから多少不安を感じていましたが、とても充実した会を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・ ひとつの題目について様々な立場の方と深く議論し、頭の刺激になった。戻って社内を確認したり、ツール検討に活かしたい
- ・ みなさんが思うこと（不満）が共通していたりし、話し合えてよかったです。
- ・ 次回はもっと活発に意見を出していきたいです。
- ・ 初めて知ることも多く、いろいろな意見を聞くことができて興味深かったです。チームでの話し合いがおもしろかったです。
- ・ この一年でトリプルAマークのようなマーク認証制度が構築できるような議論ができればと思います。
- ・ 前回より課題が難しかったが、チーム内の各企業の意見を聞くことができた
- ・ 次回もよろしくお願いします。
- ・ 前半の講演について、チームのテーブルの並びが背中を向くようにする人がいるため、Webでも見れるようにしていただけるとありがたい
- ・ 他のチームの方々の考え方、悩み、共通しているところ、異なる考え方を知ることができよかった。次回も宜しくお願いします。
- ・ 自社の業務だけでは触れることのなかったテーマについて意見をきくことができ、有意義だった。
- ・ 前回よりも発表が工夫されていた（スライド投影）のでよかった。しかし、小さくて少し見えにくかったです。
- ・ WEB参加の場合拾う音声が多すぎて、音声途切れる場面が多かったです。また、他のチームでも同様のことが考えられます。現場のパソコンでWEB参加の画面がどういう風に表示されているかは分かりませんが、コメント欄を大きく表示するなど改善することが出来れば、全体の活性化につながると思います。それ以外にも改善策があれば、実行していただけると幸いです。
- ・ 普段自分が関わらない認証について教えてもらった。仕組みが機能するための条件があることを理解出来た。
- ・ 他社の状況が分かり勉強になりました
- ・ ウェブ参加であったため講義は画面が見やすく非常に受講しやすかったです。グループワークではQ3に記載した点や、実際の発表の場への切替が間に合わず一部の発表を聞けないなど不具合がございました。現地参加のチーム員で改善できる点もあると思いますので、今回の経験を次回に生きていきたいと思います。
- ・ 今のところ食品業界というより「品質保証部」「食品安全」分野のプログラムである印象。席の配置は工夫しないと姿勢が辛い。
- ・ ワークの時間がたくさんあって良かったです。
- ・ 食品安全と品質の明確な定義を今回の講義でも改めて説明していただけるとありがたいと感じた。
- ・ 今回も自分の専門外の話を中心に刺激だった。「食品表示の生産者と消費者のコミュニケーションのズレをなくすこと」「海外の消費者にウケる食品表示の作り方」が今後の成果物のタネになると感じた。